

麻しん風しん混合（MR）定期予防接種のお知らせ

予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。予防接種はお子さんを病気から守るため、また周りへの感染症の拡大を防ぐために必要なものです。予防接種の目的や内容をよく理解した上で、お子さんの体調の良い時に受けましょう。

1 対象年齢・接種回数

第1期	1回	1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前日まで
第2期	1回	5歳から7歳未満で小学校就学前の1年間（4月から翌年の3月31日まで）

2 接種場所

別紙「予防接種協力医療機関」麻しん風しん混合に○印のある医療機関
※医療機関に予約をしてから接種してください。

3 持ち物

予防接種予診票（伊那市発行のもの）・母子健康手帳

4 費用

無料（公費負担）※対象年齢を過ぎると実費になります。

将来、家庭や職場で
感染しない・させない
ことが重要です。



裏面をご覧ください

5 予防する病気

麻疹 (はしか)	麻疹ウイルスの空気感染、飛沫感染、接触感染で感染します。 潜伏期間は約 10～12 日です。かぜのような症状とともに 38℃前後の熱が3～4日続きます。一時、治まりかけたと思うとまた 39～40℃の高熱となり、全身に発疹がでます。高熱は3～4日で解熱し、発疹も消えていきますが、しばらく色素沈着が残ります。主な合併症では、気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎が報告されています。また、10万人に1人程度が、亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。
風疹	飛沫感染で感染します。潜伏期間は2～3週間で、症状は発熱、発疹、頸部リンパ節腫脹等です。主な合併症は、血小板減少性紫斑病、脳炎などの報告があります。また、成人が発症すると、小児より重症化することがあります。 <u>妊娠初期（妊娠20週頃）に風疹ウイルスに感染すると、胎児に感染し、先天性風疹症候群（難聴、先天性心疾患、白内障、網膜症等）が高い確率で発生します。</u>

6 予防接種の効果

1回の接種で、95%以上の方は免疫を得ることができますが、ワクチンの効果がなかった場合やワクチンによって得られた免疫が持続しなかった場合を防ぐために、2回接種が行われるようになりました。2回接種することで、99%以上の方が免疫を得ることができ、長く持続するようになるため、2期の接種は重要です。

7 ワクチンの副反応

副反応の主なものは、発熱と発疹です。他の副反応として、注射部位の発赤、腫れ、しこりなどの局所反応、じんましん、リンパ節の腫れ、関節痛、熱性けいれんがみられます。まれに、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどが生じる可能性があります。

8 接種上の注意

- 病気の治療等で、輸血又はガンマグロブリンの注射を受けた方は、ワクチンウイルスの増殖が妨げられる恐れがあるため、3ヶ月もしくは6ヶ月は接種が出来ませんので主治医にご確認ください。
- 麻疹又は風疹にかかったことがある方も、麻疹風疹混合ワクチンを接種することができます。
- かかっていない方のワクチン（単抗原ワクチン）を接種することもできます。ご希望の方は予防接種予診票を交換いたしますので、伊那市役所健康推進課予防係までご連絡ください。

＜お問合せ先＞伊那市役所健康推進課予防係 電話０２６５－７８－４１１１ 内線２３３２